【様式２】（中小企業者等→中小企業支援センター）

受付番号０４－

令和　　年　　月　　日

公益財団法人 岡山県産業振興財団

（岡山県中小企業支援センター）

理事長　小林　健二　様

　　　　　　　　　　　　　　　　（企　業　名）

　　　　　　　　　　　　　　　　（代表者役職・氏名）

**支援要請書**

１．要請者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 企　業　名 |  |
| 住　　　所 | 　〒　　　　　　 |
| 電　　　話 | 　 | ＦＡＸ | 　 |
| E-mail | 　 |
| 申込責任者 | 所属・役職　　　　　　　　　　氏名　 |
| 業　　　種 |  ①製造業　②建設・運輸業　③卸売業　④小売業　⑤サービス業　⑥その他 |
| 取扱品目ｻｰﾋﾞｽ内容 |  （具体的に記入）　 |
| 設　　　立 | 　　　　年　　　月　　　日 | 従業員数 | 人　 |
| 資　本　金 | 　　　　　　　　　　　千円 |  | 　　　　　　　　　　　　　　 |

２．誓約

(1)私（法人の場合は、代表者、役員又は実質的に経営を支配する者。以下同じ）は現在又は将来にわたって、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から５年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治運動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他反社会的勢力（以下「暴力団等反社会的勢力」という。以下同じ）に該当しないことを表明・確約します。

(2)私は現在又は将来にわたって、自ら又は第三者を利用して、①暴力的な要求行為、②法的な責任を越えた不当な要求行為、③取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為、④風説を流布し、偽計若しくは威力を用いて貴財団の信用を毀損し、又は貴財団の業務を妨害する行為、⑤その他これらに類する行為を行っていないことを表明・確約します。

(3)私が上記のいずれかを満たさないと認められることが判明した場合又はこの表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、本支援を中止されても異議を申しません。これにより損害が生じた場合でも、一切私の責任といたします。

(4)私は、私が暴力団等反社会的勢力でないことを確認するために、貴財団が行う調査に協力するとともに、必要に応じて本要請書に記載された情報を貴財団が専門機関（岡山県警察・公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター等）に照会することに同意します

３．支援を希望する時期

（希望される時期を記入して下さい。(希望される時期以外になる場合もあります。)　無ければ空欄にして下さい。）

|  |  |
| --- | --- |
| 希望時期 |  令和　　年　　月（上旬 中旬 下旬）開始　／　令和 　年 　月　終了予定 |

４．過去の診断歴

　（過去、専門家による支援を受けたことがある場合、その時期と内容を記入してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 過去の診断歴と内容 |  ・有（　　　　年　　月）　　　　　・無 |
|  （診断内容）　 |

５．支援を求める理由・内容

|  |
| --- |
| (１)　現在の経営上の問題点・課題（２）（１）に対して専門家に求める支援の内容（３）専門家の支援により期待する効果・成果 |

（注）①派遣を受ける事業所の所在地付近の略図を添付して下さい。

　　　　②直近２期分の決算書（貸借対照表、損益計算書（販売費及び一般管理費、製造原価報告書含む）、株主資本等変動計算書、個別注記表）を添付して下さい。